



生徒たちの主体的な活動

四日市市立内部中学校 第3号

新年度が始まり、早くも10日余りが過ぎました。第2週は、時間割による授業が始まった他に、発育測定や部活動見学、12日(月)に専門委員会、15日(木)には生徒議会と、生徒たちが主体的に取り組む活動が行われました。

生徒議会は、生徒会執行部のてきぱきとした進行のもと、生徒会長のあいさつに始まり、各専門委員会で検討された前期の取り組み、4・5月の重点活動について報告されました。

それぞれの委員会が、内部中学校でこれまで大切に行ってきた取り組みを中心に計画を立案し、生徒議会に参加するメンバー全員で、活動内容を確認しました。

今後、内部中学校のすべての生徒が、気持ちよくやりがいを持ち、有意義に学校生活を過ごせるよう、各委員会で工夫したり新しい取り組みを立案したりして、生徒たち自らの思いや行動で、さらに良い学校となるよう、具体的に取り組んでいってほしいものです。



生徒議会の進行がしっかりとして立派でしたが、始まる前の準備する姿に大変感心しました。視聴覚室に早く集まって来ていた2年生が、互いに声をかけ合い相談しながら自主的に机やイスを並べて準備していました。先生に指示されてからではなく、自分たちで考え行動することが、これからの学校生活で多く見られることを期待します。

認証式の様子

19日(月)に認証式を行いました。コロナウイルスの感染拡大防止のため、各専門委員長の認証と活動提案のみを視聴覚で行い、他の生徒はその様子をZoomで視聴したり、担任の先生より認証状を受け取ったりしました。校長からは、上記の下線を引いた部分について、生徒たちに話をしました。



生徒会執行部、代議員会、各専門委員会が、協働するとともに、それぞれ活躍して、より良い学校づくりのために主体的に取り組んでほしいです。また、『何を、いつ、だれが、どのように』を全校生徒に明確に発信し、具体的に取り組むことを大切にしたいものです。

健康診断等の意義

新年度になると学校では、発育測定をはじめ、様々な健康診断が行われます。これは、生徒のみなさんが、順調に成長しているか、病気等にかかっているかを調べるための大切な学校行事です。3年生（12日）、1・2年生（15日）の発育測定に始まり、15日（木）に耳鼻科検診、16日（金）と20日（火）には、歯科検診を実施しました。



学校における健康診断は、保健を管理する上でとても大切な学校行事です。ただ、学校では病院のように一人ひとりを丁寧に診ていただくことができないので、病気や異常がないかを見るスクリーニングとしての位置づけになっています。したがって、気になる箇所が見つかった場合は、学校からお知らせをして、病院等で再検査を行うという方法をとっています。

健康診断を単なる健康管理として終わらせるのではなく、生徒たち自身が健康について学ぶ機会としたいと考えています。保護者の皆さまにも、お子さまの成長を感じていただき、必要があればお子さまの生活習慣、家庭全体の生活習慣を見直す機会として、ぜひ活用していただければと思います。

耳鼻咽喉科医の稲垣先生から検診後に、「生徒たちが静かに待っており、スムーズに検診ができた。小学生とはまるで違う。」とのお言葉をいただきました。さすが内部中生です。

各授業の様子

1年生の制服姿もすっかりと馴染んできました。それと同じように、授業を受ける様子も中学生らしくなってきました。タブレットを活用した授業にもスムーズに取り組んでいます。2・3年生は学級の雰囲気慣れ、学級全体でやりとりをしながら授業を進めている様子を見ることができました。



コロナウイルス感染症への対応

三重県において、本日より※5月5日までの「緊急警戒宣言」が発出されました。

コロナ禍において、教育活動も様々なことに配慮しながら行う必要があります。各授業においても、できることとできないことを整理しながら進めていきたいと思っています。例えば、しばらくは、できるだけ前を向いての授業を基本とします。本来は生徒たちが互いに対話し、学びを深めていくことはとても大切なことですので、学級全体での意見のやりとりは大切にしたいと思います。昼食は全員が前を向いて会話をしないで食べます。全校生徒が一斉に下校する日には、学年別に時差下校を行います。他にも様々なことに留意していきます。

大変な状況が続きますが、教育活動については、みなさんの『知恵』と『思いやり』で諸課題を解決し、折り合いをつけながら、適切かつ誠実に取り組んでいきたいと思っています。